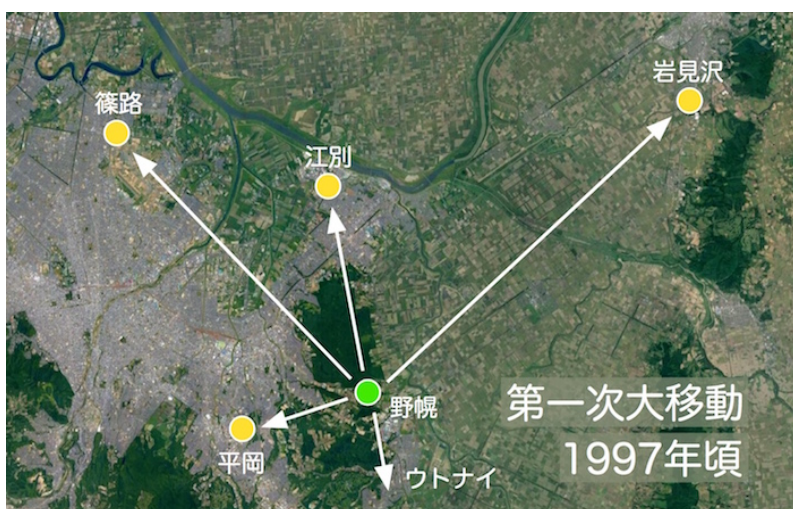


アオサギ観察会

2019年5月10日

アオサギ大移動、再び。

第一次大移動 その最初の始まりは野幌でした。当時、札幌周辺でアオサギのコロニーといえば野幌が唯一。ここを1997年5月、アライグマが襲ったと言われています。このとき、野幌を追われたサギたちは周辺地域に4ヶ所のコロニーを新設し移り住みました。またこれとは別に、一部のアオサギは遠くウトナイ湖まで飛び、同地のコロニーに合流したようです。このコロニーはこの年だけ営巣数が激増しています。



第二次大移動 野幌の騒動からほぼ20年、今度は江別が災難に遭いました。今のところコロニーの完全放棄には至ってませんが、規模は5分の1ていどに減ってしまいました。江別を去ったサギたちは何処へ行ったのでしょうか？ 皆さんご存知のとおり、平岡は例年になく営巣数が多いように見えます。たぶん岩見沢に引っ越したサギもいることでしょう。そして、篠路。ここははっきり増えたようです。一説では200以上の巣が確認されたとか。たぶん第一次大移動の際のウトナイのようなことが起こっているのでしょう。



江別コロニーは以前の賑わいを果たして取り戻せるのでしょうか？あるいは全く別の営巣地が新たにつくられるのでしょうか？札幌圏のサギたちが落ち着きを取り戻すまでにはまだしばらく時間がかかりそうです。